秋田県立秋田南高等学校同窓会会報
「南 翔」　第58号
題字揮毫
鈴木　義信 氏（4期・東京支部）書道家

創立50周年記念式典　　写真提供　㈱岩田写真

50周年に感謝をこめて

創立50周年記念事業実行委員会
委員長　鈴　木　力　雄

この冬は7年ぶりの大雪。悪路の中、南高校の生徒達が保護者の自家用車で送られる通学風景を見ながら、40数年前の風景を思い出しています。

さて、母校創立50周年にあたって、同窓の皆様の暖かいご協力と在校生と卒業生の半世紀の紡ぎし想いを乗せた数多くの記念事業を実施することが出来ました。

校訓碑建立・除幕式、野球・剣道の招待試合、秋南祭、50周年記念曲「式典のための音楽」・シンボルキャラクター作成、記念誌の編集・発行そして記念式典・講演会・祝賀会等々とつつがなく終えることが出来ました。一連の記念事業に対する同窓の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

私は、この一連の記念事業を通じて、同窓の皆様の「南高校ここにあり」という気概と、「熱い母校愛」に感涙しました。

そのひとつは、**「全3面の祝賀広告!」**

記念式典の朝、地元紙魁新聞に同窓関係企業93社が協賛し全3面に渡る祝賀広告が掲載されました。同窓会が主体となったこの新聞広告の反響は大きく、「度肝を抜かされた」とか「卒業生の活躍は本当にすごいね」「南高生はみんな頑張っているねー」という声が寄せられました。この新聞広告を見て、卒業生がいかにこのような機会を待ち望んでいたかを痛感しました。この次は「甲子園出場で!」…早い機会に実現できることを望んでいます。

もうひとつは**「祝賀会に同窓生550名出席!」**

記念祝賀会は同窓生550名を含む730名が出席!同窓会の「第五回南翔の集い」と合同開催とするにあたって、命題であった『「南高校ここにあり!」を知らしめるために同窓生参加者500人』という目標を達成するため、実行委員会幹事期の皆さんは大変なご苦労があったと思います。しかし、周りからは「あんなにすごい参加者を集めるとはさすが南高校」とか「見たことがない」「聞いたことがない」との声が寄せられました。

南高校の歴史と伝統は在校生と卒業生、両方の活躍によって築かれて行くものと信じていますので、この二つの事象で充分に同窓の皆様の母校に対する熱い思いが多くの皆さんに伝わったと思います。

私は南高校が、皆様の「母校愛」を礎にして創立100周年に向けて、建学の精神をブラッシュアップし、南高校に求められる人材育成のための新しい学校文化を創り上げながら発展することを願うものです。50周年に感謝をこめて!

最後に、記念式典前日に、荒谷浩元校長（第9代校長）が他界されました。その訃報が10月5日に掲載されていました。

奇しくも50周年記念式典の当日、同窓による創立50周年を祝う広告が全3面に渡って掲載された同じ新聞に…先生が私たちに「私もここにいるよ」と語りかけているようでした。

思い起こせば、校舎全面改築の着想をされたのが荒谷校長でありました。先生と50周年記念式典で一緒にお祝いの杯を交わしたかったのでとても残念に思っています。合掌

秋田県立秋田南高等学校創立50周年

中間報告とお礼について

厳寒の候、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

私達の母校創立50周年記念事業も滞り無く、そして厳粛かつ盛大に挙行されました。

これも偏に同窓生並びに関係各位のご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

24年5月に立ち上げました「母校創立50周年特別記念事業実行委員会」での募金に際しましては、同窓会目標額に匹敵するご寄付をお寄せ頂いており、10月5日の記念式典において学校側に目録贈呈式を挙行することが出来ましたことを皆様にご報告致します。

同時にご協力に対し心からお礼を申し上げます。

あらためて、同窓会並びに関係各位の南高校への思いの深さと、期待の大きさに感激した次第であります。

尚、募金活動は平成25年3月末日までとしており、現在は概算報告であります。

記念祝賀会の同窓会長挨拶でも披露しております通り、この募金から学校への寄贈は、第一に校訓である「獨立自尊の石碑」を建立し6月28日に除幕式を行いました。第二は現在進めております「TV会議システム」の導入であり、生徒の語学教育向上に役立て世界に通用する国際人を育てたいと東京南翔会、保坂武文会長と協調（募金も含め）して進めております。

第三に学校内の教育環境整備事業として設備、器材提供で、より快適で向学心を助長するよう役立てて欲しいと思っております。

数多くの皆様から多大なご寄付を頂戴し、今後の母校発展に諸先輩の気持ちが届き、輝かしい創立百周年に羽ばたいて行くよう祈るばかりであります。

これからも、母校の飛躍に同窓会は応援して参りますので、引き続きのご協力とご支援をお願い致しまして、途中経過報告と御礼の挨拶にかえさせていただきます。

平成25年1月吉日

秋田県立秋田南高等学校　同窓会
創立50周年特別記念事業委員会
会　長　菅原　　晟
副会長　山岡緑三郎
副会長　石塚　幹夫
副会長　加藤　　寛
副会長　江畑　佳明
創立50周年記念事業実行委員会委員長
教育振興会長　鈴木　力雄

～創立50周年同窓会記念事業収支中間報告～

平成25年1月9日現在

収入見込額	18,754,785	円
支出見込額	18,429,533	円
差引（予定）	325,252	円

（収　入）　（単位:円）

項　目	予算額	決算見込額	備　考
同窓会教育振興基金より	5,975,763	5,975,763	確　定
募金口座（寄付金額）	14,024,237	14,024,237	入金中
計	20,000,000	20,000,000	

（支　出）　（単位:円）

項　目	予算額	決算見込額	備　考
募金印刷物	900,000	736,050	確　定
記念石碑（寄贈）	2,500,000	2,415,000	確　定
記念誌	0	577,500	確　定
新聞広告	0	600,000	確　定
TV会議（寄贈）	3,000,000	5,000,000	予　定
教育環境整備（寄贈）《吹奏楽器材を含む》	12,600,000	9,726,450	予　定
送信料他諸雑費	1,000,000	945,000	予　定
計	20,000,000	20,000,000	

※　決算報告は、25年度総会の承認を得て事業報告書、寄附名簿でお知らせ致します。
※　記念誌につきましては、記念祝賀会に出席の同窓会員に贈呈しました。
※　募金額の今後の増加分は、教育環境整備等に振り向けられます。

北日本コンピューターサービス株式会社
URL：http://www.kitacom.co.jp
本 社：〒010-0013
秋田市南通築地15番32号
TEL：018（834）1811
FAX：018（834）1815
関東支社　関西支社　九州営業所

渡辺博人社会保険労務士事務所
社会保険労務士　渡 辺 博 人（12・F）
秋田市桜ガ丘二丁目4番9号
TEL 018－831－5280
FAX 018－831－5287

ＩＣＴでお客様の未来を応援
spirit of innovation
株式会社フィデア情報システムズ
代表取締役　菅原　晟（第1期Ｆ組卒）
取締役　金澤　邦雄（第14期Ｉ組卒）
他 卒業生22名
〒010-0951 秋田市山王三丁目4番23号
TEL：018-883-0200　FAX：018-883-0209
http://www.fisys.jp/

記念式典

次　第

物故者黙祷
開式のことば
国歌斉唱
校長式辞
実行委員会会長あいさつ
来賓祝辞
祝電・祝詞披露
学校功労感謝状贈呈
永年勤続表彰状贈呈
生徒代表あいさつ
校歌斉唱
閉式のことば

平成24年10月5日（金）、さわやかな秋晴れのもと、「秋田県立秋田南高等学校創立50周年記念式典」が秋田県民会館において挙行されました。在校生をはじめ佐竹知事、穂積市長、教育委員会、国会議員、県議会・市議会議員、PTA、教育振興会、旧職員、職員、同窓会等1,243名が出席されました。また同窓生においては東京支部長・仙台支部長・支部会員達も遠路駆け付け、まさに創立50周年にふさわしい、盛大で厳粛な式典となりました。

佐藤校長先生の式辞では、初代校長信田四郎先生が校訓として掲げた「独立自尊」の教えが歴代校長に脈々と引継がれ、文武両道に生かされていると述べられた。鈴木実行委員長は在校生への言葉として、「現在同窓生は19,030余名となった。君達は個性に磨きをかけ新しい時代を築き、夢をかなえる学び舎となるよう未来にはばたきゆかんことを祈念する」と挨拶した。来賓の祝辞では、国際社会で活躍する有為の人材が着実に育っている。生徒代表あいさつは、「先輩達から着実に受継がれている伝統校というだけではなく、これからの発展や現状を新たな一歩として、「独立自尊」で心を一つにし一層の精進をする。寄贈された校訓碑は自己をみつめる心のよりどころである。」と堂々と述べました。今回同窓会からの寄贈はもう一点あり、設置準備中であるがテレビ会議システムです。国際社会に羽ばたく礎となるよう願ってやみません。最後にこの式典を粛々とスムーズな進行に一役買った在校生を紹介したい。駐車場・駐車場の整備、玄関前での来場者出迎えのあいさつ、受付、来賓の会場誘導、接待、司会進行（2年生の女子）等の初々しくも落ち着いた応対ぶりに、伝統はかくも受継がれていたかと感動しました。

菅原会長より佐藤校長へ目録贈呈

記念講演

佐々木毅氏による記念講演

記念式典に引き続き仙北郡美郷町出身で元東京大学総長佐々木毅氏による記念講演が行われました。学ぶことの大切さと生きることへの関わりについて1時間あまりにわたって語りかけてくださいました。内容を簡単にご紹介します。

学ぶことは人間にとって自然で重要で欠かせない活動、生活態度である。高校から大学に向けて「学ぶ」と「人生」に微妙な関わりが始まる。「学ぶ」ことは勉強より広い概念、活動、知的な営みで勉強はその第一ステップ。生きていくなかでもっと様々な学び、現実性が出てくる。そして働くことはこれから何を考えていくか、何に関心を持っていくかということにクローズアップされる。知識が現実を作り変え、世の中を変え、社会の仕組みを変える。勉強で知識を蓄えるということである。

「学ぶ」は「どのように人生を送るか」に繋がっている。何を学ぶのかと自分に問いかけをすることは、人間性とどこかで繋がっていて人間性がにじみ出てくる。これまで社会に貢献された方々が定年になり自由になったとき、何を縁に生きていくかは高齢社会では基本的な問題であり課題でもある。若い人には勉強から始まりより広い意味での学びに対する鋭敏な感覚を身につけてもらいたい。広い意味での学びと問いかけを習慣にし、それを見ている若い世代が新しい問いかけをする。生きると学ぶの好循環を体現してほしい。学生たちは厳しい社会で絶対諦めず、大事だと思った関心事を放棄しないでほしい。若い世代だけでなく自分の関心事を大事に根から木に育てていくように時間を使ってほしい。

この原稿を書きながら自分の学ぶと人生の関わりを考えてみると哲学的な疑問符ばかりが私の緩い頭骨をめぐってきます。先日99歳の男性が知らないことがたくさんあるからと大学で政治学を学んでいるという記事を目にしました。学ぶとはどう生きるかということを体現されているのだろうと思います。私ももう一度生きてみよう、学ぶチャンスはまだまだあると勇気が湧いてきました。

16期　雅楽代昭子

成人記念　婚礼記念　入学記念　卒業記念
百日祝い　お宮参り　七五三　還暦　家族写真
各種レンタル衣裳も取り揃えてます。
（成人振袖、七五三など）
写真には毎日を「幸せ」にする不思議な力があるんです
Iwata Photography 岩田写真
代表取締役社長　岩田幸久　第21期B組卒
http://www.iwataphoto.tv/
中通本店/秋田市中通1－3－30　0120－24－5015
こども写真館
イワタフォトスマイリー山王店/秋田市山王新町1－19　0120－24－5026
イワタフォトスマイリー御所野店/秋田市御所野下堤2－1－13　0120－24－5025
総合お問い合わせ先　0120・24・5015　毎週水曜定休

KoSharu Mise
Hand Made Jewelry Shinoda
代表　篠田大祐（26期）
こしゃる店 篠田宝飾
〒101-0001
秋田市中通6丁目19-3
Tel.018-836-5486
営業時間9:30～19:00
毎週月曜・第3日曜定休
こしゃる店　検索

秋田諸越粉　菓子種一式　そば粉製造元
株式会社 畠山製粉所
代表取締役　畠山佳男
第19期F組卒
〒010-0942 秋田市川尻大川町12－58
電話 018(862)4858・FAX 018(862)8717
E-mail seifun@cna.ne.jp

記念曲演奏会

日時:平成24年10月5日　15時40分～ 16時10分

演奏曲（作曲　天野正道氏　11期）
①式典のための前奏曲（創立40周年記念委嘱作品）
指　揮:阿 部 智 博　先生
②式典のための音楽（創立50周年記念委嘱作品）
指　揮:天 野 正 道　氏

この度の記念式典で部活動協力者として表彰された賀内隆弘さんの司会進行により、記念演奏会が始まりました。演奏は本年度全国大会に出場した吹奏楽部60数名の頼もしい後輩たちです。1曲目は、創立40周年記念事業の際に作曲された「式典のための前奏曲」で阿部智博先生の指揮です。この曲は学校行事の際にはおなじみの曲と言うことで、ご存知の方も多かった様子。華やかさがあり創立50周年記念式典にふさわしい曲調で、演奏も一糸乱れぬ素晴らしいものでした。

インターバルは、賀内さんの進行で作曲者である天野さんへのショートインタビューです。

天野さんは元々アマチュア無線を趣味とする理系人間であったそうで、学校からの遅い帰宅の際は、自転車に蛍光灯を取り付けて走る発明（?）をされたそうです。在学中は、担当をテナーサックスからフルートに替えながら、朝練、授業中は楽譜書き、そして夕練と練習に励み、才能を花開かせた様です。在校生へは、「流れに乗るだけではなく、何かを感じ、新鮮に楽しく1日を充実して」のメッセージをくださいました。

今般の50周年記念曲の依頼については、「40周年とあわせて2回も作曲委嘱をいただくことは同窓生として大変光栄なことである。今回の曲は、母校の栄誉を思って作曲した」とのことでした。

さて2曲目は、天野さんご自身の指揮による「式典のための音楽」で、本日が初演とのこと。パーカッションから始まり力強いファンファーレが響き渡ります。途中に吹奏楽部OBの演奏者も加わり本当に素晴らしい曲、そして演奏でした。約10分のこの演奏は、母校のこれからの100年の栄誉をたたえるに相応しいものでした。

演奏終了と同時に「ブラボー!」の声があがり、場内拍手喝さいの幕引きとなりました。

記念曲演奏

記念祝賀会

平成24年10月5日秋田ビューホテル4階飛翔の間にて、ご来賓、学校関係者、同窓生等700名を超える関係者のご参加により『創立50周年記念祝賀会』が盛大に開催されました。

大いに盛り上った記念祝賀会

はじめに、吹奏楽部OB10名によるホルンファンファーレが演奏されました。壮大で美しい音が鳴り響き、祝賀会は華々しく開幕いたしました。

続いて、山岡緑三郎同窓会副会長による開会のことばの後、菅原晟同窓会長がご挨拶をされました。第1期生でもある菅原会長から、昭和37年の学校創立時の入学式において信太四郎初代校長から「獨立自尊の精神」、「青年の夢を育てる」という教育の基本方針が伝えられ激励を受けたこと、そして、50周年を迎えることができたのは「獨立自尊の精神」を学んできたことと兄や父のように接してくれた恩師のお陰であると感謝の言葉が述べられました。また、同窓会による50周年記念事業についての説明と記念式典において目録を贈呈したことを報告されました。

続いて佐藤健公校長がご挨拶をされ、今後も教職員一同秋田南高校を発展させていきたいと力強いお言葉をいただきました。

来賓祝辞、来賓紹介、鏡開きと続き、本校12期生OBでもある穂積志秋田市長の音頭により「おめでとう」の合図で乾杯がされました。乾杯は、各卓に置いてあった創立50周年を記念して作られた特別ラベルの日本酒と記念の升でされ、いよいよ祝宴の時間となりました。ちなみにこのお酒は相当の美味でありました。

同窓生のテーブルは同期が同じ卓に配置されていましたので自然に会話も弾み、また、テーブル数65卓で700名以上の宴会でありますのでかなり賑やかな宴であったように思います。また、アトラクションとしてOBによる合唱やジャズ演奏が行われ会場のムードを一層盛り上げていたように思います。

さて、会も終盤となると、歴代応援団員が壇上に集合し、藤村貴・元応援団長（21期）から「そーれっ」というあの懐かしい掛け声が発せられたのを合図に全員で校歌を斉唱しました。その後、「フレーフレー秋南」と力強いエールが送られました。

謝辞、万歳三唱が行われ、最後は創立50周年記念事業実行委員会・鈴木力雄会長より閉会のことばが述べら

～自然を大切に～
山岡工業株式会社
yamaoka
代表取締役　山　岡　緑三郎
第３期Ｃ組卒
本　社／〒010-1415
秋田市御所野湯本二丁目1-5
TEL ０１８（８２６）１６１６
FAX ０１８（８２６）１５６５
営業所／北秋田市・横手市・仙北市
http://www.yamaoka-ind.co.jp/

住んでからも満足
吉兆 HOME
株式会社 吉兆ホーム
代表取締役 吉 田 一 生（13・F）
秋田市泉北３丁目４－５

～秋田駅とともに100余年～
株式会社 関 根 屋
代表取締役　金　子　達　也
25期Ｊ組卒
秋田市東通一丁目１番26号
☎018-833-6461　FAX018-831-4062

れ関係者の方々に対して感謝の意が伝えられました。
　最後になりますが、同窓会役員、実行委員会メンバー、この会の成功のために尽力されたすべての皆様に感謝と敬意を表し心から御礼申し上げます。

記念コンペ

創立50周年記念コンペ鏡割り

　9月30日(日)、やっと秋らしくなった曇り空のもと、創立50周年を記念する、南翔ゴルフ同好会主催のコンペが、南秋田カントリークラブで盛大に開催されました。
　同好会が正式に同窓会活動の一環として認知されて10年、秋にコンペを開催してきました。今年は創立50周年と重なり、元校長や現PTA会長などの来賓5名をお招きして、参加者はなんと例年の3倍の71名という盛況振り。
　9時01分、OUT・INに分かれて18組が元気にスタートしました。コースでは各ホールから歓声が上がる好プレー、珍プレーが続出。和気あいあいの楽しいゲームは続きました。
　参加者が多いため、最終の2～3組は薄暮のプレーとなり、先に上がった何人かが最終ホールを見守る中、最終組が無事ホールアウト。後は大会結果を待つばかりとなりました。
　成績発表と表彰式は、秋田パークホテルで開催。今年から伊藤健一(1期)初代会長の後を受けた、佐藤竹昭(5期)会長は、ゲストと共に、創立50周年の佳節に当り、多くのゴルフを愛する仲間とプレーできた事に感謝し、「同好会活動の原動力となった秋田県高校OB対抗ゴルフ大会は自分の夢だった。来年は是非初の女子チームの出場を」と訴え、この大会に参加した3名の女子選手が皆の喝さいをあびました。

　また、ゲストとして参加された猿田PTA会長は、50周年事業に対する御礼を述べ、生徒達の健闘を讃えると共に、今後益々の支援を呼びかけました。
　佐藤会長、伊藤前会長、猿田PTA会長、川合同窓会前会長による鏡開きで祝宴はスタートし、スタートチーム毎に配置されたテーブルは、大いに盛り上がり、お互いの健闘を讃えあう笑顔で溢れた。
　表彰式に移り、自分の結果を固唾をのんで耳を聞き入る姿が。ついに優勝の発表。18期の太田清志さんが栄冠に輝きました。太田さんは「南秋田CCのメンバーでありながら、今まで90を切った事が無く、これほど嬉しい事はない」と語り、全員から祝福されました。
　表彰式終了後も、ゴルフ談義は尽きる事なく、延々と続き予定時刻よりもオーバーして雨の中、帰途につきました。
　佐藤会長と共に大会の準備に汗を流された、宮腰寿さん(6期)ありがとうございました。
　表彰式をセットしてくださったパークホテルの高橋一生さん(7期)ありがとうございました。そして参加された皆様、大変ありがとうございました。

優勝の太田清志さん(左)と佐藤竹昭会長

大会結果

		OUT	IN	TOTAL	HDCP	NET
優　勝	太田　清志(18期)	45	44	89	20.40	68.60
準優勝	鈴木　健作(4期)	44	40	84	14.40	69.60
第三位	佐藤　竹昭(5期)	39	45	84	14.40	69.60
第四位	江口　文男(2期)	42	45	87	16.80	70.20
第五位	相場　利治(5期)	37	38	75	4.80	70.20
ベストグロス	佐藤　昭徳(22期)	38	36	74		

レーザ切断加工・総合金属板金加工
有限会社 アキラ製作所
代表取締役　林　勇一
第24期C組卒
〒010-1941
秋田市川尻町字大川反170-34　秋田市工業団地(協)内
TEL：(018)823－2432　FAX：(018)864－4264
URL：http://www.akira-ss.co.jp/　E-mail：info@akira-ss.co.jp

企業経営のパートナー
川村行政書士事務所
所長　川　村　良　喜
第4期A組卒
秋田市泉中央六丁目5番18号
シャロム泉1F
TEL 824-8171　FAX 865-5383

税務のご相談は……
宇佐見康伸税理士事務所
税理士　宇佐見 康伸（4・A）
事務所／秋田市中通五丁目6－33
☎018－832－8045

記念行事に参加して

合唱部OB・OG会会長　沓　沢　憲　明

南高校が創立50周年を迎え、この大きな節目の記念行事に、合唱部が発表の機会を得ました。発表に当たり、小林清人先生の指導の下、秋田支部、また東京支部との合同練習を企画しました。数十年ぶりの練習にもかかわらず、すぐに在校当時の授業や部活動時がよみがえり、打ち解けた中にも真剣な雰囲気での練習となりました。

練習を重ねるにつれ声もまとまり、響きも良くなり、時には感動が生まれ胸が熱くなる場面もありました。その記憶は今でも鮮明に残っています。物事に一途になれるこの時期、合唱部の仲間との時間を共有できたこと、心から幸せだったと感じ、感謝しています。

私達合唱団は白黒を基調とした正装で、祝賀会の発表に臨みました。乾杯後すぐの演奏でしたので、歓談の中始まりましたが、一生懸命聴いてくれた方も多く、納得できる発表でした。

翌日吹奏楽部の方の計らいで、記念演奏会にも参加することができました。

改めて、文化部のリーダー的存在であるである吹奏楽部の方々と接し、言葉、礼儀の正しさ、思いやりのある態度に感銘を受けました。一緒に共演できたこと、非常に光栄に思っています。県民歌を歌い、小林先生の指揮で校歌を合唱し、会場と一体となった時、南高校に在籍していたことを誇りに思いました。

今後も在校生の皆様方が活躍され、益々南高校が発展することを祈念しております。

末筆ながらこの記念行事の参加に、ご尽力頂いた関係者にお礼申し上げます。

50周年式典スナップ集

招待試合（剣道・野球）

記念碑前にて

吹奏楽部OBによる記念演奏会

元応援団のエール

応援団によるエール

感謝状贈呈

祝賀会でのホルンファンファーレ

招待試合での日本剣道形の演武

創立50周年記念行事の写真はすべて（株）岩田写真提供

その他いろいろ、一級技能士・屋外広告士がご相談を承ります。
■トータルサイン■デザイン■プロデュース
有限会社 山王看板
代表取締役　今川　篤（24－I）
〒010－0951 秋田市山王5丁目4－20
TEL018－823－8609, FAX018－824－6373

総合建築業　一級建築士事務所
有限会社 松本工務店
取締役・一級建築士　松本　繁（24期、A組）
〒010-0004　秋田市東通観音前13-34
TEL. 018-834-3537, FAX. 018-835-9698
住まいのリフォーム
住宅便利屋
お客様専用 0120-04-0091

NAS NIPPON AIR SERVICE CO.,LTD.
日本エアーサービス株式会社
国土交通大臣登録旅行業第644号・日本旅行業協会会員
所長　小笠原　和　則
19期E組卒
秋田営業所
秋田市山王二丁目1-60アイデックスビル
TEL 823-6000　FAX 823-6100
本社（東京）：（03）3496-7711㈹

母校だより

運動部活動

全県新人戦

サッカー
優勝　(0-0:4PK3　秋田商)

剣道
男子　団体　優勝
　　個人　準優勝　筒　井　雄　大
女子　団体　優勝

陸上

男子	400mH	1位	鈴　木　　景
	1600mR	7位	茂内、飯詰、須合、鈴木

水泳

男子	総合	2位	
	100m平泳ぎ	1位	田　口　稔　基
		5位	蓮　沼　太　郎
	200m　〃	1位	田　口　稔　基
		4位	蓮　沼　太　郎
	100mバタフライ	5位	相　原　康　志
	200m　〃	4位	相　原　康　志
	200m背泳ぎ	7位	齋　藤　龍　一
	400mメドレーR	3位	
	400mR	4位	
	800mR	4位	
女子	100m平泳ぎ	6位	山　城　唯　香
	400m個人メドレー	5位	山　城　唯　香

アーチェリー

男子	個人	1位	大　野　優　太
	個人1年	1位	石　井　義　志
女子	個人	1位	伊　藤　安　季
		2位	佐々木　千　夏
		3位	吉　田　佳　純
	個人1年	1位	小田島　美　和

バトミントン

男子	個人	ベスト16	猿　田　亮　介
女子	ダブルス	ベスト8	庄司・森本組
	個人1部	ベスト16	森　本　あすか

山岳

男子	団体	7位	
	知識部門	6位	齋　藤　和　哉
	天気図部門	11位	小笠原　一　樹
	読図部門	7位	小笠原　一　樹

全県インドアソフトテニス大会
男子　団体　ベスト8

東北高校新人水泳大会

男子	100m平泳ぎ	6位	田　口　稔　基
	200m　〃	4位	田　口　稔　基

東北高等学校アーチェリー選抜大会
女子　団体　3位
佐々木千夏、伊藤安季、小田島美和

第91回全国高等学校サッカー選手権秋田県大会
準々決勝敗退(1-1:4PK5　角館)

文化部活動

吹奏楽部

第60回全日本吹奏楽コンクール
銅賞

自然科学部

第47回秋田県児童・生徒理科研究発表大会
齋藤憲三賞

日本生物教育学会第92回全国大会
ポスター発表の部　優秀賞

秋田県高校文化祭総合美術展

写真部
写真部門　推奨　渡　邉　悠　介
(全国高等学校総合文化祭出品)
〃　佐　藤　桃　子
〃　吉　野　竜　名
〃　片　村　峰　雪

美術部
絵画部門　推奨　松　田　瑠　香

書道部
書道部門　推奨　田　口　実　李
〃　泉　　香　夏
入選　佐々木　琴　瑞

文芸部

秋田県高等学校文芸作品コンクール
詩部門　第2席　小　池　静里乃
短歌部門　第3席　小　池　静里乃

よみうり高校生写真コンテスト2013
3席　尾　形　俊太朗

同窓会からのお知らせ、連絡事項

1. 特別記念事業の今後

教育環境整備の事業につきましては、学校のご希望を充分に聞き入れ、学内の教育振興に資するよう準備を進めております。

尚、同窓会では従前からお話をしている吹奏楽器材を寄附より振り向けることにしております。金額は最終の募金額にゆだねられますことをご理解下さい。

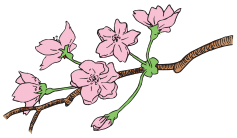
2. 会員年会費の納入要請

同窓会の運営は、会員の年会費2,000円で賄われます。何卒、ご理解を賜り、お手元に納付書が届きましたら毎年お納め下さるようお願い申し上げます。

やぶから望（ぼう）
柴　田　恵　子
第７期Ｅ組卒
〒010－0921
秋田市大町四丁目３番20号
（ＡＫビル２Ｆ）
TEL　８６４－５０９５

ＬＰガス、床暖房、冷暖房
住宅設備機器、メンテナンス、灯油
株式会社
オノプロックス
ONO PROX
取締役　小　野　隆　三　第3期Ｆ組卒
小　野　隆　史　第29期Ｉ組卒
秋田市新屋扇町７－41
TEL (018) 828－2108
FAX (018) 828－2177

南高校同窓生　大歓迎
(南高割引きあり)
JOY
ジョイ
今　田　和　子（1•A）
秋田市山王一丁目2－13　21ビル３Ｆ
☎ ８２３－６３８０



旅と共に夢を追いかけて

2期　保　坂　タツ子

昨年12月13日（木）、母校の英語科20名の前で、若かりし頃から今日に至るまで海外4度の旅を40分間語る機会があり、その時の話を要約してみたいと思います。

旅のきっかけは、中学3年の夏、南高校受験勉強中気分転換に自転車で土崎から八橋油田地帯に行った時、全く見知らぬ土地に踏み込んだ不思議な感動を覚え、もっと未知の世界を歩いてみたいと思い始める。昭和45年5月連休中8日間四国一周をする。初めての1人旅で当時女一人泊めてくれる宿は無しで、すべてユースホテル青少年の宿を利用する。未知の人達や自然とのふれあいで大変な感動と充実感、一人でやり切った自信。決定的だったのは、四国一周の帰りに寄った大原美術館で出会った棟方志功の「**今見よ、いつ見るも**」の強烈な言葉と、大阪万博での外国人とのふれあいであった。この時、いつか外国にと胸に秘める。昭和48年、日本ユースホテル協会で第8回ヨーロッパホステリング11ヵ国の募集あり。最初の大きなチャンスでした。40名の募集に100名の応募。作文と英語の試験。さて会社はと。約50日間だったので退職願いを出す。しかし支店長が本部と掛け合ってくれ休職扱いとなる。県庁にパスポートを取りに行くと欧州は1人か2人。秋田駅ホームは万歳三唱の渦。そんな時代でした。その後、外国の青少年指導者との交流やホームステイの受入れ、北海道少年の船キャンプ生活、登山、スキーの引率等経験する。昭和55年文科省の委託事業「東南アジア青少年交流使節」3ヵ国訪問。そして40代の時、文科省の日独青少年指導者交流会の参加を打診されたが、また機会もあるだろうと断る。しかし20年後までチャンスはなかった。**チャンスは逃がすな!**である。平成21年「日独青少年指導者セミナー」で訪独。7日間の強行スケジュールの中、小中学校授業参観もあり生徒達とのディスカッションも楽しいものでした。そして4度目の旅は平成24年11月にスロベニア、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナです。新聞で「内戦後二つの国家に分断ボスニア」と民族間の融和が進まない記事を読み、行ってみたいと思っていた所へチャンス到来!ボスニアは、弾痕だらけや破壊された建物が生々しく、世界遺産“モスタルの石橋”のたもとにあった「DONT FORGET ’93」（内戦の93年を忘れるな）という石碑には胸を衝かれた。クロアチアの世界遺産“ドブロヴニク旧市街”城塞にあるピレ門に刻まれた碑文「自由は世界中の黄金をもってしてもあがなうことができない」が強く印象に残る。40年前ヨーロッパへ行った時のチェコのカレル大学生の「私は自由が欲しい」その言葉とオーバーラップする。さて話は前後するが、10年前に“体力気力のあるうちに”好きな旅行業に就きたい思いで退職。翌年海外旅行取扱主任者資格を取得し、旅行会社に勤める。その後世界遺産検定試験のことを知り早速2級を取り、一昨年は難関の一級に挑むも2度失敗。もうあきらめようと思ってた所、新聞の「7度目の挑戦剣道8段合格」が目にとびこんだ。我が同窓生12期卒の後藤俊明氏である。勇気づけられ3度目の挑戦で1月に合格。世界遺産を学習している中で、ユネスコ憲章前文を知る。紹介します。「戦争は人の心のなかに生まれるものだから、人の心のなかにこそ平和のとりでを築かなければならない。相互の風習と生活を知らないことは人類の歴史を通して世界中の人々の間に疑惑と不信を引き起こした共通の原因であり、この疑惑と不信のために世界中の人々の差異があまりにも多くの戦争を引き起こした」

クロアチア世界遺産

編集後記

今年も大雪に見舞われ大変な日々を過ごしております。年が明け、編集会議が開催された際、部会の大先輩が会議に向かう途中に悪路に足をとられ、足首を捻挫してしまうというアクシデントもありました。

創立50周年の各事業も無事に終え、自分が参加できなかった事業も沢山ありましたが、編集を通して知ることができました。野球部と剣道部の記念試合では、共にいい結果を残すことが出来たようですし、吹奏楽部は記念曲の素晴らしい演奏、そして記念式典のすぐ後に全国大会もあり、大変な苦労をされたのではないのでしょうか?この3つの部活動を始めとして、全ての部活動に今後の更なる活躍を期待しております。

周年という特別な年を終えるのは寂しい感じも致しますが、これまで2万人近くの卒業生を輩出し、いろいろな方面でご活躍されている皆さんがおり、その輪が母校にとって、同窓生にとって、更なる発展をもたらせてくれることを同窓生の一人として期待したいと思います。

24期　今川　篤

同窓会事務局
〒010―1437　秋田市仁井田緑町4の1
秋田県立秋田南高校内
電話　０１８―８３３―７４３１

"Be a blast of wind"
厚生ビル管理株式会社
株式会社　光　風　舎
代表取締役社長　加　藤　　寛
第９期Ｅ組卒
〒010-0911 秋田市保戸野すわ町6番16号
TEL ０１８（８２３）４０６１
FAX ０１８（８２３）４０７４
E-mail：kosei@kosei-buil.co.jp

ソフトウェアの受託開発
ホームページ作成
株式会社　エイチ・アイ・ティ
Human Interface Technology
代表取締役　川合　俊昭　５期Ｅ組卒
システム部課長　藤井　宗則　21期Ｄ組卒
システム部　瀬川　邦好　23期Ｇ組卒
総務部　渋谷　暁子　31期Ｊ組卒
〒010-1623　秋田市新屋町砂奴寄4-11
秋田県工業技術センター内
TEL 018-895-5515　FAX 018-895-5516

今時代は電子書籍
iPad/iPhone用書籍アプリ制作・販売代行
株式会社　くまがい印刷
代表取締役　熊谷正司（4・A）
秋田市中通六丁目４－21
☎018（833）2220㈹　FAX（833）6732